

パブリックコメント以降の主な変更箇所について

追加資料

No.	ページ数	変更内容	変更理由・趣旨
1	全体	「保育所(園)」の表記を「保育所」または「保育所等」に変更。	煩雑な表記になるのを避けるため。
2	目次の前	「はじめに」追加。	
3	2	図に「教育振興基本計画」追記。	関連計画の中で、特に関係性が深いことから、明記することとした。
4	19～21	第二期計画期間の「確保の内容」及び「実績」修正。	記載の誤りの修正。
5	23	支援を行う人材の確保を行います。→各教室のリーダーになる人材の確保を行います。	人材について詳しく表記。
6	24	表下「適応指導教室」及び「家庭訪問型学習支援事業」の令和7年度以降の名称変更について注釈を追記。	名称変更に伴う追記。
7	26	「願い」→「ように」に修正。	市の当事者意識を明確にするための修正。
8	34	認定区分の説明を修正。表形式の表記に変更。	子ども・子育て支援法の表記と整合をとった修正。
9	38～40	根拠法を子ども・子育て支援法に統一。表も統合。	いずれの事業も子ども・子育て支援法を根拠とする国の考えが示されたため。
10	42,47,48,50,51	「量の見込み」と「確保の内容」の数値を修正。数値を一致させた。	明確な定員設定がなく、利用希望者は基本的に対応する性質の事業であるため。
11	44,47	第二期計画の「これまでの実績」を修正。	記載の誤りの修正。
12	46	「量の見込み」と「確保の内容」の数値を修正。	量の見込みの考え方を変更した。
13	51	「量の見込み」の修正。	記載の誤りの修正。

No.	ページ数	変更内容	変更理由・趣旨
14	51～52	「補足」追記。	アンケート調査と量の見込みの乖離について、説明を追記。
15	53	「本事業は、野洲市社会福祉協議会が実施しており、」→「本事業は、 <u>指定管理者として野洲市社会福祉協議会に管理運営を委任</u> しており、」	実態に沿う表記に修正。
16	55	「妊婦等包括相談支援事業」の「現状」追記。	本市ではすでに実施しているため。
17	55	「量の見込み」と「確保の内容」の数値を修正。「これまでの実績」を追記。	国の手引きではなく、実績に基づき再算出したため。
18	56	「産後ケア事業」の「現状」追記。	本市ではすでに実施しているため。
19	56	「産後ケア事業」の「今後の方針・確保方策」追記。	訪問サービスの実施を検討するため。
20	56	「量の見込み」と「確保の内容」の数値を修正。「これまでの実績」を追記。	訪問サービスの実施を検討するため。
21	57	「量の見込み」と「確保の内容」の数値を修正。	国の考えに基づき、年間延利用人数に単位を変更したため。
22	58	「子育て世帯訪問支援事業」の「現状」追記。	本市ではすでに実施しているため。
23	58	「子育て世帯訪問支援事業」の「今後の方針・確保方策」修正。	本市の実施状況に基づき、記載を修正した。
24	58	「量の見込み」と「確保の内容」の数値を追記。「これまでの実績」を追記。	実績に基づき算出した。
25	71	「子どもSOSホーム」→「こどもSOSホーム」	表記の修正。
26	75	「 <u>適応指導</u> の充実」→「 <u>教育支援ルーム訪問型教育支援事業</u> の充実」	事業名変更に伴う修正。